

請戸で復活 町指定無形民俗文化財 「請戸の安波祭」

2月18日、請戸地区の苜野神社において、町指定無形民俗文化財「請戸の安波祭」が行われました。安波祭は約300年前から伝わる行事で、震災後は仮設住宅で開催されていましたが、7年振りにふるさとで復活しました。当日は多くの住民が集まり、地元での伝統行事復活を喜び合いました。



浪江神社で火防祈禱

2月23日、権現堂地区の浪江神社において、火防祈禱祭が行われました。火防祈禱祭は、震災後も続けられており、町の無火災を祈念するため、浪江町消防団第1分団第1部熊川喜仁部長ほか団員14名が参加しました。



水素社会実現に向けて

2月8日、浪江町地域スポーツセンターにおいて、福島県水素利用シンポジウム2018inなみえが開催されました。パネルディスカッションでは、「水素エネルギーがもたらす未来」をテーマにトヨタ自動車(株)の燃料電池車開発責任者や浪江町に整備される大規模水素製造拠点施設の東芝エネルギーシステムズ(株)責任者などのパネリストが水素エネルギーの可能性などについて、意見交換を行いました。

また、会場では、水素自動車の展示や県内の高校生による再生可能エネルギー研究のパネル展示なども行われ、400人以上の方が来場されました。



町内で7年振り 活動成果を披露

3月3日、浪江町地域スポーツセンターにおいて、浪江町芸能祭が開催されました。町内での開催は7年振りのことで、町の芸術文化を大切に維持していこうと活動を続けてきた浪江町芸術文化団体連絡協議会の12団体が、三味線、民謡、フラダンスや舞踊など、日頃の活動成果を披露しました。また、特別ゲストとして、浪江町出身の添田哲平さん、台湾出身のヴァイオリニスト イザベラ・チェンさんによる二重奏がありました。来場した町民の皆さんは、町の芸術文化を懐かしむとともに、町の芸能を楽しみました。



まっぺなみえっ子

3月7日、なみえ創成小学校・中学校において、「東北に緑を！セブンイレブンプロジェクト」で頂いたバンジー、ピアノの苗植えをしました。

苗植えは、昨年12月に行った活動に続き、今回は、「まっぺなみえっ子」をスローガンに、4月に開校するなみえ創成小学校・中学校に通う子供たちを温かく迎えようと、地域の方々など38名が集まり行いました。

参加した地域の方々は、入学してくる子供たちを待ち遠しく思いながら、熱心に作業を進めました。



がんばれ!

なみえ

まちの話題

皆さまの身の回りにある楽しい話題、
いっぴう変わった話題などの情報を募集しています。

問 企画財政課情報統計係
TEL 0240(34)0241

町長杯ソフトテニス インドア復興親善大会

2月3日と4日、浪江町地域スポーツセンターにおいて、浪江町長杯ソフトテニスインドア復興親善大会が開催されました。県内各地から参加された選手は寒さを感じさせない熱いプレーを繰り広げるとともに、震災により離れ離れになってしまった仲間との再会を楽しみました。結果は次のとおりです。(敬称略)

シニアの部

優勝 五十嵐・鈴木ペア
(原町クラブ)
準優勝 岩崎・金丸ペア
(原町クラブ・相馬クラブ)
第3位 武山・斉藤ペア
(原町クラブ)
第3位 早川・西山ペア
(馬稜クラブ・浪江クラブ)

一般の部

優勝 関根・村田ペア
(阿武隈STC)
準優勝 高橋・松本ペア
(阿武隈STC)
第3位 飛田・猪狩ペア
(無所属)
第3位 保科・木村ペア
(阿武隈STC)



シニアの部



一般の部

ふるさと浪江会の総会が開催されました

2月18日、ホテル椿山荘東京において、ふるさと浪江会総会が開催されました。総会の後には親睦会が催され、ふるさと浪江会顧問の田尻義雄様より浪江町に寄附金を頂いたほか、原田直之会長の歌唱や大抽選会、参加者全員で「ふるさと」を合唱するなど、会員同士の親睦を深めました。

ふるさと浪江会は平成22年に設立し、東京近辺にお住まいの浪江町出身者やゆかりのある人などで組織されています。



ありがとうございました

皆さまから義援金等の支援を
お届けいただきました。

3月5日
鎌倉商工会議所青年部様(義援金)

